

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	一般社団法人めいどいんマキノ
取組	(2) 地域の女性グループの活動支援
構成員数	10人 (うち、女性の人数: 8人) (令和4年5月時点)

1 事業実施方針

近年、消費者の健康づくりへの意識が高まってきているなか滋賀県環境こだわり農産物の基準に合わせた安心・安全な農作物を生産し、販売するため、生活者の目線で活動できる女性農業者グループが地域の各組織と協力連携し、日々の生活で地域住民を含む消費者が役立つ情報の提供を行うことを目的とする。それを達成する手段として多世代の女性が関わることができる郷土料理の継承、また若手女性就農者が活躍できる新しい食べ方プロデュースや定期的なマルシェの開催、移動販売や宅配事業、飲食提供施設の運営を行う。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

地域の女性農業者の活躍できる機会として安全・安心・信頼される地産地消の拠点づくりを目指す。地域食材を活用した食育の推進と地産地消の拡大および高付加価値化を図るとともに、豊かな地域資源と共生しながら多世代の女性の目線による暖かさと快適さを活かしたアメニティビジネスに成熟化させ、満足度の高い就農環境づくりを図ります。

予定される構成員は以下の通りです。

☆連携機関・・・販売部門 道の駅マキノ追坂峠 女性3名
☆農業従事者・・・生産部門 女性4名男性1名
☆調理師有格者・・・製造部門 女性2名
☆農用地資格者・・・農地借用 男性2名 育苗ハウス借用 男性1名

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
(今後の取組)		
1.新規就農者の研修、体験受け入れ	初年度1人(目標:年間2人)	

2.情報発信（SNS等）	毎年（目標）	
3.農用地所有者の獲得	初年度1人（目標：年間2人）	
4.地域の郷土料理継承研究会	初年度1回（目標：年間2回）	
5.アグリ経済研究会	初年度1回（目標：年間2回）	

（注）「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

（2）女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
（今後の取組）		
1. 定例会の継続開催	年間4回程度実施	
2. 研究会・研修会の実施	年間3回程度（目標）	
販路開拓のためのマルシェ参加	年間3回程度（目標）	

（注）「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

（3）女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
（今後の取組）		
1. 地域の郷土料理と新しい食べ方の融合	年間1回（目標：2023年度）	
2. 農作物を使用した特産物開発	年間1回（目標）	
3. 販路開拓のためのマルシェ	年間3回程度（目標）	
4. 移動販売と宅配事業の計画	年間4回程度（目標）	

（注）農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

（1）働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
—	—	—

（注）「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の（1）の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

（2）地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	女性就農者が中心となって活動できる場面が少ない。
②	若手女性就農者が提案する食べ方活躍できる。
③	農業の経営について勉強する機会が少ない。

【課題解決のための補助事業（概要）】※課題番号に対応するように記入ください。

①	地域食材を活用した食べ方プロデュースをし、マルシェで試験販売する。
②	農作物を使用したオリジナル商品の新規開発に向けた試作品の開発、道の駅にて試食アンケートを50名対象に実施、活動グループのロゴデザインの作成
③	アグリ経済研究会の開催（1回）
④	郷土料理研究会の開催（1回）
⑤	女性就農者が直接販売する移動販売と宅配事業（4回）

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	食べ方プロデュースで開発した商品(惣菜等)を道の駅マキノ追坂峠で販売を開始する。
②	オリジナル商品(土産)をアンケート調査を参考にし、改良した上で
③	開発商品の販売戦略を立てる。
④	消費者との交流の機会として、生産者が直接移動販売を実施する。
⑤	高齢化が進行する中で、健康を考慮した食材の宅配事業を実施する。

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
1	2022年6月～9月	対象者：グループメンバー全員 ・活動メンバー募集 ・経営戦略実習 ・郷土料理研究実習 ・作付け計画づくり研修会 ・ロゴマーク検討、テスト印刷	消耗品費 53,581 円 謝金 202,727 円 役務費 95,000 円 賃借料 80,001 円	
1	2022年7月～11月	対象者：グループメンバー全員 ・販路開拓のためのマルシェ参加	旅費 856 円	
3	2022年11月以降	対象者：グループメンバー全員 6次化へ向けた試作品のテスト販売	印刷製本費 38,065 円	
③	2022年6月～2月	対象者：グループメンバー全員 定例会 4回以上実施	会議費 24,546 円	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	8人
(新規確保女性農業者の内訳) 自営農業就業者 8人、雇用就農者 0人、アルバイト・ボランティア等 0人	

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。
農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。